

2023年10月1日

## 私費外国人留学生家計収支状況

学 域 \_\_\_\_\_ 学 類 \_\_\_\_\_  
研究科 \_\_\_\_\_ 専 攻 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_  
国 籍 \_\_\_\_\_ 入学年度 \_\_\_\_\_ 年度 来日年月 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_  
学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏 名 \_\_\_\_\_

1. 「2022年1月1日～2022年12月31日の生活実態」をもとに、1ヶ月平均の収支状況（日本で同居している家族全員分）を記入してください。

収入金額（月 額）		支出金額（月 額）	
本人		住居費（アパート・学生寮・その他）・共益費	円
奨学金(学習奨励費含む)		電気・水道・ガス料金	円
奨学金名( )	円	電話・インターネット料金	円
( )	円	食費	円
日本学術振興会特別研究奨励金	円	生活用品（服・靴・洗剤・紙類・電気製品ほか）	円
給与・アルバイト	円	就学費（教科書・参考書・授業料）	円
本国からの送金（援助）	円	通学費（バス代、ガソリン代など）	円
本人の預金の切り崩し、貸付金	円	保険料（国民健康・住宅保障・障害保険ほか）	円
配偶者ほか		教養・娯楽・交際費・会費等	円
奨学金(奨学金名: )	円	その他（理美容・医療・貯金・仕送りほか）	円
給与・アルバイト	円		
本国からの送金(援助)	円		
本人の預金の切り崩し	円		
合 計	円	合 計	円

※ 支出欄の、本国からの送金と本人(配偶者)の貯金の切り崩しは、しっかりと分けて正確な金額で記入してください。

※ 収入と支出の金額が一致するように記入してください。なお、支出が収支を大きく超える場合は、確認を求める場合があります。

※ 住居費(家賃・共益費、契約期間など)が記載された賃貸借契約書のコピーを提出してください。

※ 家賃・電気・水道・ガス・電話料などは、今年1月～6月(6カ月分)の領収書等から月額平均を算出し、記入してください。なお、領収書の提出は不要です。

※ 預金の切り崩しは、本人の預金のことであり、父母等本国かからの仕送りを貯金したものについては「本国からの送金(援助)」に記入してください。

## 2. 奨学金の状況

「給付奨学金受給状況申告書(様式8)」を記入の上、申告書に記入した奨学金名、受給額、受給期間がわかる書類(奨学金決定通知書など)のコピーをあわせて提出してください。

## ○指導教員所見

上記学生の経済状況について、支援を必要と認め、学生の学習活動その他生活の全般を通じての態度・行動について、免除対象者としてふさわしいと判断します。

指導教員(署名) \_\_\_\_\_

【記入の注意点（様式 10-1）】  
2022 年 1 月 1 日以前から渡日していた学生用

用】

（様式 10-1）  
2023 年 10 月 1 日

# 留学生家計収支状況

学 域  
研究科

日本に最初に渡日した年月を記入してください

年

国 籍 \_\_\_\_\_ 入学年度 \_\_\_\_\_ 年度 **来日年月** \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏 名 \_\_\_\_\_

1. 「2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の生活実態」を基に、1 か月平均の収支状況（日本で同居している家族全員分）を記入してください。 **収支は 2022 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日の 1 年間の状況（実績）** で記入してください。

収入金額（月 額）		支出金額（月 額）	
本人			
奨学金(学習奨励費含む)		2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日の 1 年間で受給していた奨学金を全て記入し、奨学金決定通知書（受給期間、金額）のコピーを提出してください。 例) ①〇〇〇奨学金が 1 年間で 1 回のみ 50,000 円支給の場合 50,000÷12=4,166 円 と記入 ②△△△奨学金が毎月（12 か月）40,000 円支給の場合 40,000 円 と記入	
奨学金名 ( ①〇〇奨学金 )	4,166 円		
( ②△△奨学金 )	40,000 円		
日本学術振興会特別研究奨励金	円	生活用品 (服・靴・洗剤・紙類・電気製品ほか)	円
給与・アルバイト			円
本国からの送金 (援助)			円
本人の預金の切り崩し、貸付金			円
配偶者ほか			円
奨学金(奨学金名: )			円
給与・アルバイト			円
本国からの送金(援助)			円
本人の預金の切り崩し			円
合計	円	合計	円

2022 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日の 1 年間に働いていた全ての収入（勤務先発行の「令和 4 年分源泉徴収票」等）から 1 か月の平均を計算してください。  
また、全ての勤務先の令和 4 年分源泉徴収票のコピー等収入の根拠となる資料を提出してください。  
なお、源泉徴収票は発行までに時間がかかる可能性があるため、余裕をもって勤務先に依頼してください。

本国からの送金（仕送り）を預金し、切り崩す場合は、「本国からの送金（援助）」欄に記載してください。  
奨学金を除く国や大学からの支援金（一時的で特別な給付金や借金）はこの欄に金額を記入してください。  
例) ①支援金を 9 月に 1 回のみ、60,000 円借りの場合  
60,000÷12=5,000 円 として算入

※ 支出欄の、本国からの送金と本人(配偶者)の貯金の切り崩しは、しっかりと分けて正確な金額で記入してください。

※ 収入と支出の金額が一致するように記入してください。

※ **住居費(家賃・共益費、契約期間など)**が記載されている場合は、必ず「住居費」欄に記入してください。

※家賃・電気・水道・ガス・電話料などは、今年1月の平均額を記入してください。なお、領収書の提出は不要です。

※ 預金の切り崩しは、本人の預金のことであり、父母等本国かからの仕送りを貯金したものについては「本国からの送金(援助)」に記入してください。

収支は必ず「収入≥支出」で記入してください。  
支出が収入を上回る場合は、再提出を求められます。

## 2. 奨学金の状況

「給付奨学金受給状況申告書(様式8)」を記入の上、申告書に記入した**奨学金名、受給額、受給期間がわかる書類(奨学金決定通知書など)のコピーをあわせて提出**してください。

### ○指導教員所見

本用紙を全て記入後、指導教員に内容を確認いただき、サインをお願いしてください。

上記学生の経済状況について、支援を必要と認め、学生の学習活動その他生活の全般を通じての態度・行動について、免除対象者としてふさわしいと判断します。

指導教員(署名) \_\_\_\_\_